

総合防災訓練におけるみえ災害ボランティア支援センター立ち上げ 各班振り返り

	本部		総務班	情報班	作戦班	調達班
	広報記録班	安全班				
良かった点	DoCoMoのサポートを受け、Blogでの情報共有を行った。	十分な給水を呼びかけ。※塩分の補充	—	—	—	—
改善点	センター内のレイアウトの変更が遅れた。(情報と広報を隣り同士にする)	スタッフとして、疲労回復にアメなどを準備する。(今回は自分たちの分だけ用意しただけだった)	現地災害VC(今回は松阪災害VC)との情報のやり取りが必要。	掲示方法について、立ち上がったVCごとに分けて、VCごとの一元的な情報共有をする。	【ガセネタ、情報】被害状況・・・状況・情報の選別、役割分担・・・機能、情報ニーズ振り分け	情報の正確さ
	内部情報、外部情報を区別して発信する。		全体の流れ(各班ごとの流れ)を総務班が把握しておく必要があるが、把握が難しかった。	情報カードについて、もっと詳細な情報カードのひな型が必要(人数、台数などをすぐ書き込めるようなもの)	【情報カードの見直し・活用】情報確認、細かく読めるように時間表示、標準化、24h、	みんなで良い解決方法を見つける
	他班との連携を行う。		Vに関する電話の問い合わせについては、誰が対応すればよいか。(仕事量のほとんどになる可能性あり)		適材適所、役割、マニュアル化	決めつけて話を進めない

総合防災訓練におけるみえ災害ボランティア支援センター立ち上げ 各人感想

所属	配属部署	感想
三重県	総務班	今回は多人数で全体が把握できませんでした。あらゆる状況に対応できるよう、普段から心がけます。
三重県	総務班	発災時のボランティア情報に対する問い合わせや登録方法などある程度想定して、いざという時に混乱を生じないように整理しておく必要があると感じた。皆さん熱心に取り組んでいただき、ありがとうございました。
県社協	総務班	県、市町社協の果たすべき役割を見直す良い機会になった。
県社協	総務班	訓練を通じて、様々な方と関わりながら、対応を考えることができたことが、日常の中では出来ない事であり、いい経験となった。今後、この訓練の反省を活かしていきたい。
県社協	情報班	入ってきた情報を仕分けるのが大変でした。ともすると、勝手な推測で動いてしまいがちになりました。何度かこうした実戦に即した訓練が必要だと思いました。
県社協	広報記録班	内部の情報、外部の情報を適切に処理し、スタッフにもきちんと伝えられるようにしていかなければいけないと考えさせられるいい機会になりました。
DVC	コントローラー	コントローラーの役割が皆にちょっとわかりにくかったのでは？うまく使ってください。
DVC	調達班	防災訓練に暑さはつきものと言うものの暑いですねー。時間と場所の認識が大切と思いました。
DVC	通信B班	無線機の操作、交信方法などたくさんの課題をいただきました。皆さんに助けていただきました。本当に有り難うございます。
DVC	情報班	情報の伝達ルートを図（流れ図）にして関係するスタッフはその図を持っておくことが必要ではないか。
DVC	通信B班	情報は伝文ではなく、コピーする方が実践的。正確な付与が難しい。2名では大変。
DVC	作戦班	松阪駅で35分発バスに乗せるところから始まったコーディネート！！1人だけ乗らないのに連絡なかった！！
DVC	情報班	実際に各地の情報を収集しての訓練は担当者だけでなく、支援センターの人々にとってもたいへん迫力のある訓練になったのではないかと思います。他団体とのコミュニケーションの点では、無線担当としては今後に残したが、日々の活動の中で対応して行くように努力して行きたい。
DVC	作戦班	勉強になりました。またがんばります。
DVC		支援センターと現地センターの違いを混同していたような気がしました。
DVC	作戦班	その都度新しい学びが出来ました。大切な事であると思っています。
DVC	調達班	調達班として初めての参加でした。いろいろ考え方があり、ずい分勉強できました。強力なスタッフの方々のおかげです。
DVC	調達班	現地のVCとの混同が見られた。また、災害支援の後方センターである状況付与が頭に入っていない人もあり、最初にサッと確認すべきだったかもしれないと思った。

DVC	広報記録班	広報記録班として参加しましたが、他の班（特に情報班）の状況を理解してしていれば、お互いに協力し合い、もっとよい仕事ができたとと思います。状況に追われて、横のつながりを見失っていたことを反省し、次に活かしていきたいとと思います。
DVC	広報記録班	多くの参加が有り、有り難うございました。今回スタッフ側で参加して、準備が8部だと改めて思いました。
DVC	作戦班	松阪ボラセンの情報連絡をしました。●センターでの運営はあまりわかりませんでしたが、ボラセンの動きが見れて良かった。●合間で見せてもらいましたが、横のつながりを密にしていけないと情報がムダになってしまう事がわかった。
DVC	作戦班	実際に想定しての練習は初めての経験でしたが、うまくできなかったなりに、いい経験をさせて頂けたとと思います。
DVC	情報班	情報に関して受けと出しの区別が必要
DVC	先遣隊	先遣隊として飯南、飯高に行きました。地域で大きな違いがあるのが感じました。大きな災害があつてここまでこれるのかと現地の方に言われて何も言えないのが現状なんだとと思います。
DVC	先遣隊	先遣隊とセンターとの通信方法をどうするか悩ましい。飯高は遠いよ。
DVC	作戦班	作戦の立案の基ともなるものは情報であり、正確な情報の入手により力をそそぐ必要があると感じた。
DVC	作戦班	情報を得る中で最低限必要な項目はマニュアル化して誰でも出来る様にしたら良いとと思います。詳細の被害状況、支援内容の詳細(どんな事をやるのか)
DVC	作戦班	道路、要請、ボランティアの対応、物資、とにかく各情報の確認を正しくしないといけないと感じた。
DVC	調達班	情報の伝達の難しさを感じました。まわってきた情報をちゃんと納得のいく様に調達することの大切さを学びました。ありがとうございました。
DVC	調達班	発災後の時間経過を全員で共有したうえで訓練したい。
DVC	調達班	情報〔道路、交通、被害、ボランティア要請〕を確実につかむこと。⇒判断〔優先順位など決める〕の大切さ
SeRV	安全班	安全班をさせていただき、何もなく無事終わらせていただきました。有り難うございました。
SeRV	安全班	安全班はうがい、手洗言われてうがい薬、水等用意したが、場所がなく実行できませんでした。
SeRV	広報記録班	いっぱいあったみえさいがいボランティアしえんセンターのかみをいっぱいくばりました。
SeRV	広報記録班	300枚ぐらいあった「みえ災害ボランティア支援センター」の紙をすべてくばりました。
SeRV	広報記録班	色々な訓練が出来てよかったです。実際に起こるともっとぐちゃぐちゃでパニックになると思うとゾッとします。
SeRV	情報班	もう少し準備をすべきであったと思う。
SeRV	調達班	情報伝達があつた場合、現状では多くの情報、ニセ情報が集まり、混乱すると思います。
SeRV	調達班	初めて参加で参考になりました。
		情報の整理の仕方をもっと煮詰めることが必要だった。先遣隊への情報発信をもっと考える必要がある。

●松阪ボランティアセンター派遣スタッフの感想

所属	配属部署	感想
県社協	松阪VC	現地ボランティアセンターとの連絡をもっと密にした方が良い。(ボランティア支援センターの状況がわかりにくかった) 現地へもっと情報を・・・
県社協	松阪VC	「どこでボランティア受付しているのかわかりにくい」という苦情が出た。
県社協	松阪VC	現地班の社協職員として任務にあたりましたが、松阪市ボランティアセンターとの連絡調整で情報を速く正確に本部に伝えることの難しさを実感しました。
県社協	松阪VC	松阪のボラセンのお手伝いをさせていただきましたが、一度に大勢押しよせるVの方々をうまくさばくことができませんでした。反省点多し。

●その他スタッフの感想

所属	配属部署	感想
県社協	先遣隊	先遣隊として、災害発生場所の状況をTELやブログで連絡しました。本部やサポートセンターの様子があまりわからず、少し不安に思いました。

↑別働